

庄内町保健医療福祉推進委員会議事録

平成25年1月25日(金) 午後1:30~3:00 余目保健センター

出席委員 菅原源也、奥山輝美、小松智弘、渋谷孝士、佐藤昭一、皆川喜一、小林義廣
長谷部奈津、富樫良秋(委員長)、本田一夫、竹田 禎、坂本紘一、赤羽幹子

出席職員 保健福祉課長、保健福祉課主幹、課長補佐兼福祉係長 佐藤 繁、
課長補佐兼健康推進係長 吉田正子、主査兼健康福祉係長 高山正子、
主任 富樫 郁

内容は次の通り

1. 開 会
2. 委嘱状の交付
3. あいさつ
4. 委員長選出 互選により富樫良秋氏を選出。
委員長指名により、職務代理に佐藤昭一氏を指名。
5. 報告事項
 - (1) 立谷沢保育園の閉園について
保健福祉課主幹より説明
 - (2) 庄内町保育所一時預り事業について
保健福祉課主幹より説明
 - (3) 自殺対策について
高山主査兼健康福祉係長より説明

【質疑等】

小松委員：庄内町の自殺者は平成23年より減少傾向にある。40~50歳代に自殺者が多いのは庄内全体の課題である。庄内保健所では保健師が企業等へ出向き心の健康講座等を年20回行っている。

酒田・鶴岡地区医師会の医師にこころの健康づくり研修会を行っている。効果は出ていると思うが、まだまだ庄内地域は自殺者が多い為、引き続き実施していきたい。

小林委員：ゲートキーパーは委嘱されているのか。

高山主査：委嘱ではない。

本田委員：庄内地域の自殺者数の関連性は？

高山主査：警察庁自殺統計のデータとなっている。

本田委員：自殺理由は、経済問題が多いのか健康問題が多いのか気になっている。今日の山形新聞に載っていたが日本は世界の中では高い実態。

(4) 高齢者世帯等雪下ろし対策について

佐藤課長補佐兼福祉係長より説明

【質疑等】

小林委員：平屋でトタン屋根はこの時期 4～5 回雪下ろしをしないとえんとつが隠れる。また、回数に上限があるため、我慢した結果柱が 1 本折れていた家庭もあった。立谷沢地区は一晩で 30～40 cm も積もる。予算もあるだろうが、3 回までと無理をするとこういう事態になってしまう。地域等も考慮しながら高齢者世帯の面倒をみてほしい。臨機応変な対応をお願いする。

保健福祉課長：特段の配慮に感謝。平成 23 年度は 134 件、755 万円（公費負担）。助成額に上限がなく、昨年からは自己負担 3,500 円を引いたうえで助成を行っている。今年も予算を使い果たし 3 月補正に要求している。

(5) 地域密着型サービス事業所の募集について

保健福祉課長より説明

(6) その他

【質疑・要望等】

皆川委員：資料を事前に配布してほしい。

6. その他

赤羽委員：健康づくり教室で町の方から 3 回来てもらった。頼んだのではなく町の方から地区（三ヶ沢）に来てくれた。だが、参加者が少なくびっくりした。個人宛の通知はなかったが、若い人は勤めているから間に合わない。地区で不幸があれば大勢不参加になる。なかなか難しいと思う。内容としては日常の習慣になるくらいのことを教えてほしい。

吉田補佐：名称「いけてる会」2 週間で運動習慣を身につけるよう成人向けの教室である。今年度 2 か所で 3 日間 1 コースで実施。集落で教室等希望があればいくらでも出向くのでよろしくお願ひしたい。

7. 閉 会